



瞬間

サモアの力強い展開攻撃を体張って食い止め、球を奪って、逆に攻撃に転ずることができたか。防御から球の争奪戦へといたる激しい攻防は、個の力とともに組織対組織の力比べとなる局面だ。

桜の陣 守る鬼神

日本が誇る働き者のプロップ、稲垣啓太が髪を振り乱しながら鬼神のような形

相で背後から迫り、サモア選手をなくまい両腕で包み込むようにタックルし

た。腕に巻かれたテーピングは、多くの大男たちとぶつかり合い、体を随分し続けてきたあかしだ。稲垣に続いて、坂手淳史もささず相手に体を寄せ、球を奪おうとする。個々のパワーや体格で海外勢に劣る日本は、密集に相手よりも素早く選手が詰めかけることで数的優位を作り、劣勢を打開することを目指している。歴代のジャパンが苦手としてきた肉弾戦を制すれば、勝利はぐっと近づく。

読者新聞オンラインのラグビーW杯日本代表写真特集はこちら



悪条件でも、瞬間を逃さない。 その想いに、キヤノン。

いつ訪れるか予測ができない決定的瞬間に備え、常に万全の状態に臨めるカメラ・レンズを現場へ。環境試験や耐衝撃試験を多面的に実施するなどプロの道具としての信頼性を追求。「一瞬」に挑むプロを支え続ける。これからもずっと。

プロに応える信頼性

キヤノンはラグビーワールドカップ2019™を応援しています。



TM © Rugby World Cup Limited 2015

Make “the moment” together.